

市・県補助金を獲得

— 4 事業 —

今年度から始まった市の地域やる気支援補助金や県の地域発元気づくり支援金に申請し、見事に4事業で140万円の補助金を獲得しました。この補助金を活用することで、さらに若槻地区のまちづくりを推進します。



コミわか農園開設事業



荒廃の農地を耕運

農業後継者不足により荒廃農地が拡大し、全国的な問題となっている。

そこで、蚊里田サラダパークのような市民菜園を造れないか、昨年の市民会議で提案し、県の補助事業である地域発元気づくり支援金を活用して、7月開設に向け整備を進めた。

農地法など大きな課題をクリアしながら進めて、応募者も多数あり好評を博している。

ホタル観賞公園づくり事業

かつては地区内の河川にはホタルが乱舞していたが、河川の水質汚染によりホタルが生息しにくい環境になってしまった。しかし、下水道の普及や河川清掃によりホタルの生息が確認され、昨年は土京川には乱舞していた。

多くの住民の皆さんに訪れていただけるよう、市のやる気支援補助金を活用し、ホタル観賞用の遊歩道整備を行った。



遊歩道の橋取付け作業

子ども相撲大会



若槻東条予選会

若槻地区の伝統行事として代表されるのが、「蚊里田八幡宮の子ども相撲」である。この伝統行事を若槻地区全体の宝とし、多くの子どもたちが参加できるスポーツイベントとして開催する。

各地区予選会を行い、8月8日(日)蚊里田八幡宮で決勝戦を行う。これを機会に地域の連帯感を深めるとともに、伝統文化を見つめなおす機会としたい。

外来植物撲滅事業

元来日本では存在しない植物(アレチウリ、セイタカアワダチソウなど)が河川や遊休農地に繁茂する。繁殖力が高いため、回りの植物が退化してしまう。地区内の景観を良くするために、早いうちに駆除し美しい自然を取り戻すことが大事だ。今年は7月25日に一斉駆除を行う。